

令和7年度主要事業一覧と達成状況(こども若者施策に関する事業抜粋)

資料3

事業名	事業概要	区分	成果目標	達成状況	担当課
重点プロジェクト					
1. 社会のニーズに対応した産業振興と多様な働く場・活躍の場づくり					
1 中小企業者人材確保支援事業	市内の中小企業者が、新たに採用する34歳以下の従業員に対して奨学金の返還支援を行う場合、企業が負担する費用の一部を助成します。	新規	助成件数：6件	助成件数：1件	商工振興課
2 学びの実験室NEXT産官学連携プロジェクト	長浜バイオ大学産学連携人材育成コンソーシアムと連携し、理系人材や地域産業人材の育成にむけた事業を実施します。	新規	「理系教科・分野に興味がある」と回答することもの割合（事業後アンケート）：100%	「理系教科・分野に興味がある」と回答することもの割合（事業後アンケート）：100%	政策デザイン課
3 若者就農支援事業	農業に関心のある若者が就農する機会を増やすため、農業経営体に対して支援します。	新規	新規に就農する農業者数：7人	新規に就農した農業者数：5人	農政課
4 保育者確保！「保育者就労支援」	資格を持っているが保育士として働いていない潜在保育士を、就労につなげることで保育士不足の解消を図るための取組を実施します。	新規	保育人材バンクへの登録人数：14人 （県保育士・保育所支援センター北部センター運営の保育人材バンクへの求職者登録）	保育人材バンクへの登録人数：12人	幼児課
5 保育士等奨学金返還支援事業・保育士等宿舍居住支援事業	保育人材を確保することで待機児童を解消するとともに、よりよい保育を提供するための補助を行います。		幼児教育職採用試験受験者のうち「補助金が受験のきっかけになった」人の割合：55%以上	幼児教育職採用試験受験者のうち「補助金が受験のきっかけになった」人の割合：43%（令和7年度実施の採用試験）	幼児課
2. 長浜に対する「シビックプライド」を醸成する環境づくり					
6 こども若者まんなか地域力創造プロジェクト	地域（こども若者＋大人）と外部人材（関係人口）が共に地域課題や新たな価値の創造に挑戦する機運を醸成するための取組を実施します。	新規	①PVコンテスト作品応募数：7作品 ②シティブロモーション特設サイト インタビュー記事：10本	①PVコンテスト作品応募数：6作品 ②シティブロモーション特設サイト インタビュー記事：15本	未来こども若者課
7 万博夢プロジェクト事業	大阪関西万博の参加国である米国（ミシガン州）と文化活動やスポーツ活動を通して相互交流を実施します。	新規	・市内の小学生がミシガン州を訪問し、フラッグフットボールを通じて現地の学生と交流を行う。 ・JCMU（ミシガン州立大学連合日本センター）の留学生と地元高校生が交流を行う。 ・万博会場にて、市内の学生が文化交流を行う。	・9/10～15に市内小学生7名がミシガン州ノバイ市を訪問し、フラッグフットボールの交流試合や現地の学校訪問、11万人収容のスタジアムでのアメフト観戦等を行った。 ・10/25に留学生に対して市内の高校生11人がガイド役となって黒壁スクエア周辺を案内した。 ・9/6に市内の高校生10人がアメリカバビリオン関係者に対してインタビューを行った。 ・8/30に大阪関西万博の滋賀魅力体験ウィークにおいて、長浜市の文化を発信するブースを出展した。	文化スポーツ課
3. こども若者の成長を全世代で応援する社会づくり					
8 （こども若者＋大人）×長浜力カワリ創出プロジェクト	こども若者の意見やアイデアを定期的に集める仕組みを整え、その中から複数のプロジェクトを実際に実施します。	拡充	①サードプレイス「itteki」利用者数：7,000人 登録者数：700人 ②関係人口交流に係るこども若者の関わり人数：100人	①サードプレイス「itteki」利用者数：6,333人 登録者数：519人 ②関係人口交流に係るこども若者の関わり人数：513人	未来こども若者課
9 地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業	モデル地区を設置し、地域と学校の連携と協働の仕組みと子どもたちの地域での学びを通した「生きる力」を育む体制づくりを推進します。	拡充	①当事業で地域学校協働活動を進める学校：10校 ②令和8年度に新たに地域学校協働活動推進員の設置を希望する学校：10校	①当事業で地域学校協働活動を進める学校：10校 ②令和8年度に新たに地域学校協働活動推進員の設置を希望する学校：8校	生涯学習課 教育指導課
10 フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助事業	不登校児童生徒が民間施設を利用する際に要する経費に対し、生活保護世帯、就学援助世帯に対して補助を実施します。		多様な学びの場の保障のため、申請者に対し補助を行う。 （年間210,000円）	申請者に対して補助を行った。 （年間56,000円 延べ補助人数15名）	教育指導課
11 養育費確保支援事業	子どもの健やかな成長に必要な養育費を確保するため、養育費の取決めに要する公正証書の作成や裁判所等への申立にかかる費用、弁護士への相談料を助成します。		①養育費公正証書等作成費用補助事業の充実：20件/年 ②弁護士等による無料個別相談会の開催：2回/年 ③法律相談に要する費用補助：5件/年	①養育費公正証書等作成費用補助事業：13件/年 ②弁護士等による無料個別相談会の開催：2回/年 ③法律相談に要する費用補助：4件/年	こども家庭支援課
12 こどもの居場所づくり促進事業	児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、支援ニーズの高いこども等を見守り、必要な支援につなげる体制の強化を推進し、こどもの居場所づくりを促進します。		①子育て短期支援事業受託事業所：6カ所 ②支援対象児童等見守り強化事業利用世帯数：訪問型・居場所型 計15世帯 ③子育て世帯訪問支援事業利用世帯数：8世帯	①子育て短期支援事業受託事業所：7カ所 ②支援対象児童等見守り強化事業利用世帯数：訪問型・居場所型 計14世帯 ③子育て世帯訪問支援事業利用世帯数：2世帯 目標値には達していないが、必要な家庭を事業につなげることができた。	こども家庭支援課
13 パパママ・リフレッシュ託児事業（長浜版こども誰でも通園制度）	育児のストレス又は急な事情により育児が困難なとき、児童を一時的に預けることで、育児負担の軽減とリフレッシュを図り、いきいきと育児ができるよう支援します。	新規	利用実績目標値：3,000人	令和7年度利用実績：2,970人	こども家庭支援課
14 こどもの100か月育ちサポート事業（妊娠・出産包括化支援事業）	すべての子どもが健やかに育つ社会の実現を目指すため、地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援等を推進します。	新規	①初回産科受診料支援：希望者全員 ②産後ケア費負担支援：希望者全員 ③産婦健康診査受診率：90%以上	①初回産科受診料支援：希望者なし（0人） ②産後ケア費負担支援：希望者全員 （宿泊：132件 日帰り：437件 訪問：156件） ③産婦健康診査受診率：99.8%	健康推進課
15 ながはま次世代住宅新築リフォーム支援事業	子育て世帯、若者夫婦（パートナーシップ宣誓者を含む）世帯による新築住宅の新築・購入、リフォームに対し50万円を上限に補助を実施します。	新規	申請件数：198件	交付決定件数：198件	住宅課
16 学力向上事業	各校の学力向上に対する課題に対して重点的及び効果的に対応するため、学力向上支援員を配置します。	新規	全国学力・学習状況調査児童生徒質問「学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合：84%	・小学校（義務教育学校前期含む）：84.8% ・小学校および義務教育学校のうち、13校に27名の学力向上支援員を配置し、各校にて、課題に応じて特色ある教育活動を推進した。	教育指導課
3. こども若者の成長を全世代で応援する社会づくり					
17 産婦人科医師、小児救急医療体制確保支援事業	周産期医療・小児救急医療を確保するため、長浜赤十字病院の医師及び医療体制の確保に対して補助します。	新規	長浜日赤産科常勤医師数：9人 長浜日赤小児科常勤医師数：10人 長浜日赤分娩件数：348件（内ハイリスク64件）	長浜日赤産科常勤医師数：10人 長浜日赤小児科常勤医師数：10人 長浜日赤分娩件数：353件（内ハイリスク65件）	健康医療政策課
行政デジタル化					
地域課題解決に関する取組					
18 AI型英語学習ソフトの活用	中学校における英語学習支援の取組として、音読練習やプレゼン練習ができ、英単語・英文の発音の分析を可能とするAI型英語学習ソフト（生徒1人1台端末で動作するもの）を導入します。	新規	全中学校に導入	プレゼンコンテストや、やりとり課題等のチャンピオンシップに各校が取り組んだ。	教育指導課

分野	項目		確認方法	計画策定時の 現状値	目標値 (R11)	R7実績	目標達成に向けたR8以降の取組	担当課
計画全体	こども若者＋大人が笑顔になる回数が増えている未来							
	「長浜市はこどもまんなか社会の実現に向かっていく」の割合		長浜市民意識調査	21. 7% (R6)	70%	R9中間見直しで確認	こども若者ボイスやittekiなどさまざまな取組を市ホームページやSNS等を通じて情報発信し、こどもまんなか社会の機運を高めます。	未来こども若者課
	「長浜市に親しみや愛着がある」の割合	中学生	若者実態調査	73. 5% (R5)	80%	R9中間見直しで確認	こども若者ボイス（中学生トーク）の実施などにより、地域を深く知るための機会や郷土愛を育む取組を推進します。	未来こども若者課
		高校生		68. 7% (R5)		R9中間見直しで確認	こども若者ボイス（高校生トーク）の実施などにより、地域を深く知るための機会や郷土愛を育む取組を推進します。	未来こども若者課
		若者		72. 1% (R5)		R9中間見直しで確認	こども若者ボイス（若手社会人トーク）の実施などにより、地域を深く知るための機会や郷土愛を育む取組を推進します。	未来こども若者課
安心	安心して暮らせる環境をあたり前にするアプローチ							
	「長浜市で子育てしたい・子育てしてよかった」の割合		子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査	52. 0% (R5)	70%	R9中間見直しで確認	移住・暮らし応援サイト「なかなか長浜」や子育て応援サイト「cheer for子育て」等において、子育てに関する情報を広く発信し、子育てしやすい雰囲気醸成に取り組めます。	未来こども若者課
	入所希望者に占める待機児童の割合		園児数のカウント	0. 31% (11人) (R6)	0% (0人)	0. 41% (12人)	保育士確保に向けた取組を進め、入所希望者の受け入れ拡大による待機児童の解消を目指します（R8新規：保育士修学支援金）。	幼児課
	「悩み相談に乗ってくれる人がある」の割合	小学生	小中学生生活実態調査	76. 7% (R6)	90%	R9中間見直しで確認	令和９年度の調査実施に向けて関係課協議を行います。	こども家庭支援課
		中学生		79. 1% (R6)		R9中間見直しで確認	令和９年度の調査実施に向けて関係課協議を行います。	こども家庭支援課
	「自分には良いところがある」の割合	小学生	全国学力・学習状況調査	84. 4% (R6)	90%	86. 3%	挨拶をはじめとした望ましい人間関係づくりを重視するとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる力を高め、あらゆる教育活動を通じてこどもたちの自尊感情を高めます。	教育指導課
		中学生		81. 0% (R6)		86. 1%	挨拶をはじめとした望ましい人間関係づくりを重視するとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる力を高め、あらゆる教育活動を通じてこどもたちの自尊感情を高めます。	教育指導課
		高校生	若者実態調査	54. 5% (R5)		R9中間見直しで確認	高校生がさまざまな場面で地域や大人と関わる機会を創出し、自己肯定感の高めます。また、ittekiにおいて高校生のやりたいことの実現に向けて主体性を育む取組を応援します。	未来こども若者課
	「長浜市の子育て環境や支援内容に満足している」の割合		子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査	67. 9% (R6)	80%	R9中間見直しで確認	移住・暮らし応援サイト「なかなか長浜」や子育て応援サイト「cheer for子育て」等において、子育てに関する情報を広く発信し、子育てしやすい雰囲気醸成に取り組めます。	未来こども若者課
	成長	いろんな経験が自信となり成長へとつながるアプローチ						
「今の自分が好きだ」の割合		小学生	小中学生生活実態調査	72. 1% (R6)	80%	R9中間見直しで確認	令和９年度の調査実施に向けて関係課協議を行います。	こども家庭支援課
		中学生		68. 5% (R6)		R9中間見直しで確認	令和９年度の調査実施に向けて関係課協議を行います。	こども家庭支援課
		若者	若者実態調査	62. 3% (R5)		R9中間見直しで確認	こども若者ボイス（若手社会人トーク）の実施などにより、地域を深く知るための機会や郷土愛を育む取組を推進します。	未来こども若者課
		大人	子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査	66. 0% (R6)		R9中間見直しで確認	移住・暮らし応援サイト「なかなか長浜」や子育て応援サイト「cheer for子育て」等において、子育てや仕事、地域の魅力に関する情報を広く発信し、安心して住み続けられる雰囲気醸成に取り組めます。	未来こども若者課
希望	未来に向けて希望を持てるアプローチ							
	「将来の夢や目標を持っている」の割合	小学生	全国学力・学習状況調査	79. 6% (R6)	80%	80. 9%	教科の学習や多様な体験活動を通じ、「働くこと」への関心を高めます。地域と連携した学校独自のキャリア教育を展開し、こどもたちの積極性と自己肯定感を育みます。	教育指導課
		中学生		63. 8% (R6)		64. 5%	教科の学習や体験活動を通じ、「働くこと」への関心と自己理解を深めます。地域と連携した学校独自のキャリア教育を通じ、自らの将来を主体的に描く力と自己肯定感を育みます。	教育指導課
		若者	若者実態調査	59. 5% (R5)		R9中間見直しで確認	こども若者ボイス（若手社会人トーク）の実施などにより、今後のキャリア形成や長浜で働きながら成長するための機会づくりを創出します。	未来こども若者課

計画分野	項 目		確認方法	計画策定時の 現状値 (R6)	目標値 (R11)	R7実績	目標達成に向けたR8以降の取組	担当課
子ども・子育て	入所希望者に占める待機児童の割合		園児数のカウント	0.31% (11人)	0% (0人)	0.41% (12人)	保育士確保に向けた取組を進め、入所希望者の受入れ拡大による待機児童の解消を目指します（R8新規：保育士修学支援金）。	幼児課
	こども（5歳児）の成長を感じた保護者の割合		5歳児保護者アンケート	89.4% (R5)	90%	89.0%	遊びや生活の中でこどもが自分で考え、判断して行動する力が育つよう教育・保育を実践します。	幼児課
	子育て・健康応援アプリながスマの会員登録数		システム	1,000人	3,500人	2,305人	アプリの周知やアプリ内の情報の充実を図るとともに、アプリの視認性や操作性の向上を図ります。	こども家庭支援課
	ババママ・リフレッシュ託児事業の利用者数		利用実績	2,300人	3,000人	2,970人	人材の確保、民間事業者との連携を推進することで受入体制の充実を図り、引き続き利用者数の増加に努めます。	こども家庭支援課
次世代育成	長浜Cheer for子育て登録団体数		登録実績	37件	100件	53件	子育て応援サイト「cheer for子育て」の掲載充実を図り、安心して子育てできるまち、子育て世代から選ばれるまちの実現に向けてさまざまな取組を推進します。	未来こども若者課
	こども若者次世代住宅新築補助金の件数		補助金交付実績	118件	246件※	198件	令和8年度は市内事業者施工の住宅改修事業を対象事業とし、市内の経済循環の活性化をはかる「長浜市なかなか、いい暮らし応援補助金」として実施します。	住宅課
こども若者	「自分には良いところがある」の割合	小学生	全国学力・学習状況調査	84.4%	90%	86.3%	挨拶をはじめとした望ましい人間関係づくりを重視するとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる力を高め、あらゆる教育活動を通じて子どもたちの自尊感情を高めます。	教育指導課
		中学生		81.0%		86.1%	挨拶をはじめとした望ましい人間関係づくりを重視するとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる力を高め、あらゆる教育活動を通じて子どもたちの自尊感情を高めます。	教育指導課
		高校生	若者実態調査	54.5% (R5)		R9中間見直しで確認	高校生がさまざまな場面で地域や大人と関わる機会を創出し、自己肯定感の高めます。また、ittekiにおいて高校生のやりたいことの実現に向けて主体性を育む取組を応援します。	未来こども若者課
母子保健	「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と思う割合		4か月児健診アンケート	75.0%	80%	81.3%	妊娠期から、こどもの健やかな育ちと、保護者・養育者が安心して子育てできる環境づくりを支えます。また、妊娠期から子育て期まで、きめ細やかで切れ目のない支援を推進します。	健康推進課
	新生児訪問の実施割合		訪問実績	100%	100%	100%	新生児訪問を全数実施します。	健康推進課
	産後ケア事業の利用者数（延べ人数）		利用実績	205人	225人	725人	出産後1年以内の母親が、安心して育児を行い、こどもが健やかに成長できるよう、母子への心身のケアや育児等の支援を行います。	健康推進課
	むし歯のない3歳児の割合		歯科健診結果	89.7%	90%	90.7%	乳幼児健診等において、フッ化物歯磨剤の利用を推奨します。また、むし歯ハイリスク児のフォローを実施します。	健康推進課
ひとり親家庭	養育費公正証書等作成費用補助金の件数		利用実績	15件	20件	13件	窓口での相談や市ホームページなどで補助金制度の周知を行い、利用実績の増加に努めます。	こども家庭支援課
こどもの貧困	就学援助を利用している児童の割合	小学生	児童生徒のカウント	8.6%	8.5%	8.4%	学校と連携しながら、市広報やHP、きずなネット等で援助を必要とする家庭に情報が届くよう努めます。	教育指導課
		中学生		10.9%	11.1%	11.0%	学校と連携しながら、市広報やHP、きずなネット等で援助を必要とする家庭に情報が届くよう努めます。	教育指導課
放課後児童	待機児童数（放課後児童クラブ）		児童数のカウント	0人	0人	0人	人材の確保、学校施設等の活用及び民間事業者との連携を推進することで受入体制の充実を図り、引き続き待機児童が発生しないよう努めます。	こども家庭支援課
	支援の単位において常勤の放課後児童支援員が配置されている割合		支援員の配置割合	91.0%	100%	78.8%	市SNSハローワーク等を通じた周知・募集を継続し、支援員の確保に努めます。	こども家庭支援課
	放課後子ども教室と連携した放課後児童クラブの実施か所数		連携実績	0か所	5か所	0か所	関係部署と情報共有や意見交換を行い、連携の可能性を探っていきます。	こども家庭支援課

※こども若者次世代住宅新築補助金については、令和6年度から令和8年度までの事業のため、「目標値（R11）」の欄は令和8年度の目標値としています。